

# ヨシナカ新聞

11月号

発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL: 03-3555-0796

## 紅葉のしくみ

写真は11月3日に撮影した桜の葉。紅葉が進んで秋の深まりを感じますが、この紅葉、しくみはどうなっているのでしょうか。

葉に含まれる色素には緑色のクロロフィル(葉緑素)と黄色のカロチノイド(カロチン類)とキサントフィル類)があります。量はクロロフィルが

カロチノイドよりずっと多いので、黄色は目立たずに葉は緑色に見えるのですが、秋、気温が低くなると葉のはたらきが弱まり、クロロフィルが分解されます。そのため、クロロフィルに隠されていたカロチノイドの色がめだつて黄色になります。一方、植物は葉を落とすための準備を始めます。葉柄の付け根にコルク質の離層という組織が作られ、物質の行き来はここで妨げられます。そのため

葉の中の物質は茎に移動出来なくなり、光合成で生産された糖は葉に留まることとなります。この糖から赤い色素アントシアニンが出来、葉は赤くなります。葉はやがて、離層のところで切り離されて落葉します。



アントシアニンの合成には、温度と光の条件が重要で、昼夜の気温の差が大きいため、空気が澄んで葉が充分日光を受けられることや、大気中に適度な湿度があつて葉が乾燥しないことなどが必ずです。

## ステンレス豆知識

オーステナイト系、フェライト系ステンレスに焼きが入らないのは何故？

ステンレス鋼にかかわらず、焼入は常温からA1変態点以上に加熱して、オーステナイトという組織の状態から急冷してマルテンサイトという組織に変態さ

せて硬化させる方法です。一般の鋼の場合にも、基本的には炭素やマンガン・クロムといった焼入れ性を良くするための合金成分が必要で、純鉄やSS材などの低炭素鋼を加熱して焼入しても硬化しません。

オーステナイト系ステンレスはSUS304を基本鋼種とするCr-Ni

鋼で、高温の状態に加熱しても安定したオーステナイトの状態のため焼入硬化性はありません。

フェライト系ステンレスは18Crステンレスと称されているSUS430を代表鋼種とする鋼で、この鋼種も高温の状態に加熱してもフェライトの状態なので焼入硬化性はありません。

## 秋の夜長にピッタリなちょっと切なくなるクラシック

ピアノ奮戦記やフルート奮戦記でおなじみのK社員は、ピアノを習うまでクラシック音楽に全く興味がなかったのですが、先生から勧められてCDを聴いたり、生演奏を聴くうちに好きになっていったそうです。そんなK社員が秋の夜長に聴くのにオススメな曲があるとしつこく言いますので、紹介させていただきます。ご存知ない曲がありましたら、Youtube等で聴けますので、もし宜しければお聞き頂ければ幸いです。

### マーラー・交響曲第5番第4楽章

グスタフ・マーラーが1902年に完成させた5番目の交響曲。アダージェツ

ト(非常に遅くという意味)と呼ばれる第四楽章は映画『ベニスに死す』で使われました。ハーブと弦楽器のみで演奏されます。美しい楽章であることから、別名「愛の楽章」とも呼ばれています。

### ラフマニノフ・ピアノ協奏曲第2番

K社員が習った2人目のI先生が大好きだった曲。協奏曲作家としての名声を打ち立てたラフマニノフの出世作でもあり、アイススケートの浅田真央さんがソチオリンピックのフリーに選んだ曲です。最初は少し重たく暗い感じですが、暫くすると、とても綺麗な旋律が流れます。

### リスト・愛の夢第三番

リストの代名詞とも言えるほど有

名なピアノ独奏曲。もともとは歌曲として作曲されましたが、その後、ピアノ独奏曲用に編曲され「愛の夢」第3番として知られるようになりました。NHK朝の連続テレビ小説『純情きらり』でヒロインが彼女の婚約者が出征する直前に二人でピアノの連弾で弾いた場面にK社員は一聴き惚れたそうです。

### ドビュッシー・月の光

ピアノ曲で有名ですが、種々の編曲により色々な楽器で演奏されています。K社員はフルートのアンサンブルの生演奏でこの曲を聴いて、その美しさに聴き惚れてしまったそうです。勿論ピアノでも、とても美しい曲です。

## K社員のエレク トーン奮戦記

### 先生のデモ演奏に感動!

私が楽器を習っている楽器店にはピアノ、エレク トーン、フルート、サクソフーン、コースがあり、各楽器の先生方は不定期にデモ演奏を聴かせて下さいます。その演奏のレベルの高さと表現力の豊かさには尊敬の念を抱くばかりです。

平成21年6月のある日曜日。エレク トーンの先生が、大河ドラマ特集というテーマでデモ演奏を聴かせて下さいました。曲名は『利家とまつ』『風鈴火山』『篤姫』『天人』だったので、テレビのオープニングで聴いたのと全く同じのが目の前で流れているのがリアルさに身体が震えるほど感動しました。

これまでもエレク トーンのデモ演奏を何度か聴かせて頂いてはいたのですが、知らない曲だったり、ポツプスだとボーカルがストリングスの音源でリアル感がそれほどなく、凄いなと思うものの、高額で難度高そうなので遠い存在で、私にとっては遠い存在で、やってみたくらいという気持ちにまでは至りませんでした。